



2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年3月29日

上場会社名 日本プロセス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9651 URL <https://www.jpdc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 俊郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括 (氏名) 坂巻 詳浩 TEL 03-4531-2111
四半期報告書提出予定日 2024年4月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績（2023年6月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	6,883	5.4	717	4.2	752	2.6	542	6.9
2023年5月期第3四半期	6,530	15.9	688	24.4	733	26.8	507	37.5

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 546百万円 (13.8%) 2023年5月期第3四半期 479百万円 (275.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	56.10	—
2023年5月期第3四半期	52.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	11,930	10,289	10,289	10,077	86.2
2023年5月期	12,311	10,077	10,077	—	81.9

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 10,289百万円 2023年5月期 10,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2024年5月期	—	18.00	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,090	1.9	915	0.8	970	0.3	690	1.1	71.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期3Q	10,645,020株	2023年5月期	10,645,020株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	972,442株	2023年5月期	985,439株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期3Q	9,666,318株	2023年5月期3Q	9,652,360株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍からの社会経済活動の正常化が進み、一部に足踏みがみられるものの、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな景気回復の動きが継続しました。しかしながら、資源・原材料価格の高騰、世界的な金融引締めや中国経済の先行き懸念などによる海外景気の下振れが、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

情報サービス産業におきましては、業務効率化・生産性向上を目的としたデジタルトランスフォーメーション(DX)など、情報通信技術(ICT)活用の意欲は依然として高く、IT投資は堅調に推移するものと見込まれます。

こうした環境の中、当社は、「ソフトウェアで社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」を中期経営ビジョンとする中期経営計画(2021年6月～2024年5月)を策定し、人材育成のための大規模案件請負の推進、トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスのトータル度向上を基本方針としております。

人材育成のための大規模案件請負の推進としては、大規模案件を計画的に請負受注し、開発を通じて新規設計能力やマネジメント力の向上などの人材育成を継続して進めており、大規模案件に参画した社員及び組織の成長が見られるとともに、顧客の信頼を得て次案件の獲得につなげております。

トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービスのトータル度向上としては、これまでも顧客のご協力を得ながら長期的に継続している「ソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで、顧客に最大のメリットを提供する」という取組みを、各セグメントの事業環境に応じて戦略的に目標を定めて実施し、さらなるトータル度向上により顧客への付加価値を向上させ、持続的な採算性の改善、競争力強化を図っております。

持続的成長への施策として、賃上げを実施して社員への還元と採用競争力の維持・強化を図り、優秀な人材の安定確保に取組むとともに、戦略に沿った技術教育や継続的なマネジメント教育を通じて社員の技術力の強化に努めております。

また、自動車システム事業のより一層の拡大を図るため、川崎事業所を新設いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,883百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は717百万円(前年同期比4.2%増)、経常利益は752百万円(前年同期比2.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は542百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より「産業・ICTソリューション」に含まれていた航空宇宙関連を「特定情報システム」へ移管しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較分析しております。

(制御システム)

制御システムでは、再生可能エネルギーを含めた電力系統制御システムは体制を維持したことにより横ばいで推移し、プラント監視制御システムは開発量が減少しました。東京圏輸送管理システムは前期より開始した更新案件により好調に推移しました。在来線の運行管理システムは新たな更新案件の受注により順調に推移し、新幹線の運行管理システムは一部案件の完了により売上が減少しました。

この結果、売上高は1,054百万円(前年同期比6.7%増)、セグメント利益は235百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

(自動車システム)

自動車システムでは、自動運転/先進運転支援関連は新たな案件を受注するなど好調に推移しました。車載情報関連は売上が横ばいで推移し、電動化関連は開発規模縮小に伴い売上利益ともに減少しました。

この結果、売上高は1,676百万円(前年同期比6.9%増)、セグメント利益は427百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

(特定情報システム)

特定情報システムでは、衛星画像関連は受注量の増加により好調に推移しました。航空宇宙関連は一部案件がテストフェーズに入り体制を縮小したことで売上が減少しました。危機管理関連は次案件が立ち上がりつつあるものの、既存案件の収束により体制を縮小したことで売上利益が減少しました。

この結果、売上高は954百万円(前年同期比2.6%増)、セグメント利益は186百万円(前年同期比13.7%増)となりました。

(組込システム)

組込システムでは、ストレージデバイス開発は半導体市場低迷の影響により体制を縮小しました。新ストレージ開発は市況の影響を受けながらも堅調に推移しました。IoT建設機械関連は開発量が増加し体制を拡大したことで堅調に推移しました。

この結果、売上高は1,048百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は249百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

(産業・ICTソリューション)

産業・ICTソリューションでは、社会インフラ関連の官公庁向け開発は前期より開始した開発案件のほか新たな案件を受注するなど好調に推移し、道路設備関連は体制を拡大し堅調に推移しました。IoTクラウドは開発量が増加し体制を拡大したことで順調に推移しました。駅務機器開発は一部案件の終了により横ばいで推移し、システム構築関連はおおむね横ばいで推移しました。

この結果、売上高は2,148百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は387百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて380百万円減少して、11,930百万円となりました。この主な要因は、賞与支給及び法人税等の支払いに伴い現金及び預金が減少したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて592百万円減少して、1,641百万円となりました。この主な要因は、賞与支給及び法人税等の支払いが行われた結果、賞与引当金及び未払法人税等が減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて212百万円増加して、10,289百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したものの、それ以上に親会社株主に帰属する四半期純利益が増加したことによります。この結果、自己資本比率は、86.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年7月7日公表の2024年5月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,157,233	3,756,061
受取手形、売掛金及び契約資産	2,589,144	2,645,313
電子記録債権	1,306,703	948,708
有価証券	750,333	800,234
仕掛品	97,023	200,779
その他	100,737	168,777
流動資産合計	9,001,176	8,519,874
固定資産		
有形固定資産	161,528	190,080
無形固定資産	40,516	28,504
投資その他の資産		
投資有価証券	2,536,510	2,588,058
その他	571,923	604,371
投資その他の資産合計	3,108,433	3,192,430
固定資産合計	3,310,479	3,411,016
資産合計	12,311,655	11,930,891
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,104	158,951
未払法人税等	166,833	86,378
賞与引当金	1,334,760	944,979
その他の引当金	39,392	29,035
その他	477,258	374,737
流動負債合計	2,176,348	1,594,082
固定負債		
長期末払金	57,477	46,894
その他	166	166
固定負債合計	57,643	47,060
負債合計	2,233,992	1,641,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,270,166	2,274,634
利益剰余金	6,420,435	6,614,714
自己株式	△618,599	△609,070
株主資本合計	9,559,412	9,767,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476,008	473,753
為替換算調整勘定	42,241	48,306
その他の包括利益累計額合計	518,250	522,060
純資産合計	10,077,663	10,289,748
負債純資産合計	12,311,655	11,930,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
売上高	6,530,273	6,883,068
売上原価	5,126,033	5,396,434
売上総利益	1,404,240	1,486,634
販売費及び一般管理費	715,469	769,168
営業利益	688,770	717,466
営業外収益		
受取利息	9,522	8,767
受取配当金	20,813	23,044
受取保険金	10,000	—
保険解約返戻金	3,064	3,722
その他	8,425	5,097
営業外収益合計	51,825	40,632
営業外費用		
寄付金	—	1,000
障害者雇用納付金	1,700	750
為替差損	—	2,315
租税公課	3,736	—
その他	2,080	1,605
営業外費用合計	7,517	5,670
経常利益	733,078	752,427
特別利益		
固定資産売却益	—	1,052
特別利益合計	—	1,052
特別損失		
固定資産除却損	0	1,469
投資有価証券売却損	138	—
投資有価証券評価損	762	—
減損損失	40,836	—
特別損失合計	41,737	1,469
税金等調整前四半期純利益	691,341	752,010
法人税等	183,889	209,745
四半期純利益	507,452	542,265
親会社株主に帰属する四半期純利益	507,452	542,265

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	507,452	542,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,471	△2,255
為替換算調整勘定	△2,075	6,065
その他の包括利益合計	△27,547	3,809
四半期包括利益	479,904	546,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	479,904	546,074

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・ICTソリューション	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	988,413	1,569,042	930,603	997,197	2,045,017	6,530,273
外部顧客への売上高	988,413	1,569,042	930,603	997,197	2,045,017	6,530,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	988,413	1,569,042	930,603	997,197	2,045,017	6,530,273
セグメント利益	213,858	447,988	163,994	220,778	356,848	1,403,468

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	6,530,273
外部顧客への売上高	—	6,530,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	6,530,273
セグメント利益	△714,697	688,770

(注) 1. セグメント利益の調整額△714,697千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△715,469千円及びその他772千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第3四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2024年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	制御システム	自動車システム	特定情報システム	組込システム	産業・ICTソリューション	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,054,489	1,676,880	954,757	1,048,183	2,148,757	6,883,068
外部顧客への売上高	1,054,489	1,676,880	954,757	1,048,183	2,148,757	6,883,068
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,054,489	1,676,880	954,757	1,048,183	2,148,757	6,883,068
セグメント利益	235,131	427,840	186,527	249,509	387,649	1,486,658

	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高		
顧客との契約から生じる収益	—	6,883,068
外部顧客への売上高	—	6,883,068
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	6,883,068
セグメント利益	△769,192	717,466

(注) 1. セグメント利益の調整額△769,192千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△769,168千円及びその他△24千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より「産業・ICTソリューション」に含まれていた航空宇宙関連を、「特定情報システム」へ移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。